

社会福祉法人 はるにれの里
児童発達支援センターさんりんしゃ
支援プログラム【ひまわり】



出発進行！

2025年度版

(作成：2025年8月1日)

●さんりんしゃ名前の由来

「前輪をお子様、後輪を支援者と保護者として、支援者と保護者が協働してお子様の発達を前に進めるという意味で名づけられました。後輪はどちらか一方が回っても同じように回らなければまっすぐには進まず、同じところを回ったりぐにゃぐにゃと蛇行します。

お子様を後ろから応援するだけでなく、ご家庭とも一緒に考え、お子様の成長を喜び、一緒に見守っていきます。」

●事業所運営理念

- ①自閉症児をはじめとした発達障がい児への早期療育による生活の安定と成長環境をつくり、家庭や地域への支援の広がりや学齢期への繋がりを確かなものにしていく。
- ②保育所等訪問支援事業・障害児相談支援事業による地域での児童の発達支援を進めていく。
- ③職員は、自分で考えること、積極的に報告・連絡・相談を行うこと、チームで日々の支援を行うことを遂行できるように常に努力する。
- ④保護者学習会やペアレント・プログラム等を通じて、保護者同士のつながりや相互交流を大切にし、保護者がエンパワメントできるよう、内容の企画と開催をする。
- ⑤児童発達支援センターとしての中核的機能を活かし、札幌市児童発達支援研修や札幌市子ども部会研修等の運営に携わることを通して、地域にある関係機関や子どもに関わる職種の人々とのネットワークの構築を図る。また、札幌市障がい児地域支援マネジメント事業を通し、地域との関係作りを進める。

●支援方針

大人になってからの生活に必要な視点「くらし」「しごと」「よか」を念頭に置き、将来生活につながるよう、児童発達支援ガイドラインにある「発達支援の5領域」を取り入れながら、総合的な支援を行います。

●5つの柱〔支援内容〕

- ① くらし～健康を意識し、食べること・身辺のこと・生活リズムなど、毎日の継続した発達支援の中で、ご家庭とも共有しながら支援を行います。（5領域の■健康・生活■運動・感覚■言語・コミュニケーションの領域が含まれます。）
- ② しごと～将来を見据えて、『仕事をする』姿勢や学習の基礎となる姿勢が身につくよう、お子様一人ひとりに合わせた課題設定を行います。見て考える力、自ら取り組む力、最後まで取り

組む力、終わったら次に進む力、人とのやりとりの力などを養います。（5領域の■認知・行動■運動・感覚■言語・コミュニケーションの領域が含まれます。）

- ③ よか～先生やお友達とのかかわりの中で、家族以外の人への信頼感や一緒に遊んで『楽しい』と思えるような経験を積みます。また、将来的にも自分一人で遊べる（過ごせる）力は大切なので、お子様の興味に合わせて過ごす時間も設けます。（5領域の■認知・行動■言語・コミュニケーション■人間関係・社会性■運動・感覚の領域が含まれます。）
- ④ 家族支援～ご家族と一緒にお子様のことを考えることができる行事や機会を設定します。保護者向けの学習会やペアレントプログラムも年間予定の中でご案内します。
- ⑤ 地域支援・移行支援～地域で相談を必要としている家庭・幼稚園・保育園・事業所のサポートを行います。また、現在通っているお子さんの就園・就学先との連携、必要に応じて都度、地域機関・関係機関との連携を行います。ライフステージの移行に伴う支援機関への引継ぎや保護者の不安や疑問に対して、各機関と協力しながら懇談・支援会議・家庭訪問等を行い、お子さんのサポートをします。

●概要（児童発達支援センターさんりんしゃ）



・所在地：札幌市西区福井4丁目3-5

・開設年月日：平成25年4月1日児童発達支援センターとして開設

（平成18年4月1日より、当時の児童デイサービスを西町にて開所・7年間）

・定員：1日24名

・対象年齢：就学前のお子様

・サービス提供時間

■ひまわり枠：10:00～13:45

■ちゅーりっぷ枠：14:45～16:30

・休園日：年間予定の通り（GW、年末年始は、連休になります）

・送迎：決められたルートを元に、ご自宅の近くまで伺います。ご指定の場所までは、ご家庭で危険のないように付き添いをお願いします。

・事業内容：児童発達支援事業、保育所等訪問支援事業、障がい児相談支援事業、札幌市障がい児地域支援マネジメント事業、札幌市障がい児等療育支援事業

・職員配置：センター長、児童発達管理責任者、障がい児地域支援マネジャー、相談支援専門員、保育士、児童指導員、支援員、嘱託医 等



●登園・降園について

・送り迎えのためご家庭の車で来所される場合、玄関前スペースが空いておりますのでご利用ください。

- ・お子様が登園した後は、防犯のため玄関は施錠しますので、インターホンでお知らせください。
- ・職員は朝の打ち合わせや清掃を行っていますので、直接来所のご家庭は9：45以降の登園をお願いします。

※お休みする場合

契約時の重要事項説明書にもありますように、連絡のない場合は教材・おやつ代の支払いと、給食費（2日前までの連絡～祝休日を挟む場合は、発注業務が止まります。例：月曜日休む際、木曜日連絡は費用が掛かりません。金曜日連絡は食事代負担となります）の支払いが生じます。

- ・ひまわり枠の皆様は祝日も登園する日があります。お休みの場合は早めにご連絡をください。

●送迎について

■送迎ルートについて

- ・年度初めに、その年ご利用のお子様を対象にルートを決めます。年度によって変わりますのでご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。
- ・例年、送迎ルートによって1回の送迎時間が長くなるルートで1時間程かかることがあります。なるべく乗車の負担がお子様にも少ないように考えており、決まったルート・停留所以外の指定場所での乗降車のご相談には対応できませんので、ご協力をお願いします。
- ・福井地区にお住まいで、さんりんしゃから500m以内の方にはご家族に送迎のご協力をお願いする場合がございます。
- ・送迎範囲外の地域（近隣の方、西区以外、八軒一部、二十四軒、発寒一部）

■遅延が10分以上生じる場合

- ・送迎車の遅延については、保護者連絡アプリ『コドモン』での一斉配信か、個別にお電話でご連絡いたします。

■当日の変更について

- ・当日の欠席、遅刻などの連絡は、当日の8時までは『コドモン』または、お電話でお知らせください。8時半以降は、お電話でお願いいたします。

→011-666-7781（事業所職員室）



※両親以外の方が送迎される場合・両親以外の方にお子様をお渡しする場合

- ・両親以外の方がさんりんしゃまで送迎される場合、もしくは送迎時にお迎えする場合は、予めご連絡をお願いします。ご連絡がない場合は、保護者様に連絡し、確認させていただいた後にお子さまをお渡しすることになります。なお、初めて両親以外の方にお渡しする場合は、お名前を伺うことがあります。ご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

●持ち物（ご用意いただくもの）

・持ち物、衣類すべてに「名前」を記入してください。紛失・間違い防止の観点からです。

- ◇ 歯ブラシなど小さい物ものも全てお願いします。
- ◇ 巾着袋は、外側の見える位置にお名前を記入してください。

・使いやすい道具の工夫で上手な操作に繋がり、自信にも繋がっていきます。

- ◇ リュックの開閉を練習しているお子さんは、チャックに紐やキーホルダーをつける。
- ◇ 荷物を片付ける練習をしてお子さんは、少し大きめのリュックや袋を用意する。
- ◇ 靴の踵を引き上げるのが難しいお子さんはゴムをつける。

・連絡ファイル、歯ブラシ、おしぼりなど、古くなった物は、ご家庭で新しい物をご用意ください。

・ご家庭での手入れのしやすさも、道具選びの大事な視点です。

※揃えるものがたくさんあり大変かと思います。初回の療育日に間に合わない場合はご相談ください。すぐには使わないものもあります。

 <p>リュック 大きめの方が、お子さんが荷物の出し入れをする際、操作しやすくなります。 たて 40cm × よこ 30cm 位のもの</p>	 <p>制作用スモック 絵の具を使用する制作の際、スモックが必要になります。既製品、手作りどちらでも構いません。 ※首のところに紐をつけてください。</p>
 <p>お弁当袋 お弁当箱、カトラリーセット、エプロン、おしぼりが入る大きさを用意してください。少し大きめの方が操作しやすくなります。</p>	 <p>お弁当箱 汁が漏れない容器のご協力をお願いします。 金曜日のみ使用します。</p>
 <p>カトラリーセット スプーン、フォーク、お子さんに合わせてお箸（しつけ箸も含む）を用意してくだ</p>	 <p>おしぼり 清潔なおしぼりを、家で濡らしてもたせてください。お子さんが操作しやすい形態を</p>

	<p>さい。お子さんに合わせ、柄の長さがある程度あり、太いものの方が操作しやすくなります。</p>	<p>ご用意ください。 （ねじタイプの蓋・チャックタイプ等があります）</p>
<p>給食用エプロン 毎日使用します。 撥水のものや袖の有無などの形態はお子さんの食事の状態に合わせて用意してください。</p> 	<p>歯磨きセット 歯ブラシ・コップ・巾着 清潔な状態で持たせてください。 必要であれば、歯磨き粉を用意してください。※キャップは安全面からつけずをお願いします。</p> 	
<p>汗拭きタオル 外遊びが始まりましたら、用意してください。</p> 	<p>着替え 下着・上着・ズボン・靴下を 1 組袋に入れて、毎日リュックに用意してください。 ※袋はビニール袋でも構いません。</p> 	
<p>水筒 毎日、持たせてください。肩紐付きで、直接飲める水筒を用意してください。 ※蓋をコップとして使用しないもの ※コップの方が飲みやすいお子さんは、用意してください。</p> 	<p>帽子 外遊びの際、持たせてください。 紐が無いタイプは、縫い付けをお願いします。折りたんでリュックに入る形状のものを用意してください。</p> 	

 <p>ポリ袋 汚れた衣類を入れたり、オムツを入れて持ち帰り用として使用します。 <u>1枚ずつに記名をお願いします。</u></p>	 <p>オムツ・おしりふき 必要な方のみ用意してください。 持ち帰りにご協力をお願いします。 外側の袋（容器）に記名をお願いします。</p>
 <p>オムツ袋 使用済みオムツをご家庭に返却時に使用します。</p>	 <p>バスタオル or タオルケット2枚 ※お昼寝用 詳細は次ページに記載しています。</p>

※着替えのお預かりに関して

- ・基本、着替えは毎日持ってきていただくようお願いしています。紛失・間違い防止の観点からです。着替えが1日に複数回あるお子さんに関して、さんりんしゃでの保管を個別にご相談させていただくことがあります。
- ・着替えは季節ごとに入れ替えをお願いします。

※衛生面に関して

- ・ストロータイプの水筒は特に汚れがたまりやすく、できれば毎日の洗浄をお願いします
- ・毎日使用する食具・エプロン・歯ブラシの洗濯・洗浄をお願いします。



※玩具に関して

- ・基本、玩具は持ってこないようお願いしています。忘れ物・紛失・破損・他児とのやりとりの観点からです。但し、玩具が手放せない場合もあるかと思えます。その場合は下記のご協力をお願いします。なお、玩具の紛失・破損等による保障はできかねます。ご了承ください。

② 大きく記名

②送迎スタッフへの連絡

■お昼寝について

- ・お子さんの状態に合わせて、お昼寝の時間を設けます。
- ・お昼寝用の**タオルケット or バスタオル2枚**をご用意ください。
- ・使用した場合は、週末にお持ち帰りいただきます。



- ・使用しなかった場合は、使用した週末にお持ち帰りいただきます。
- ・長期休みの場合は、使用の有無に関わらずお持ち帰りいただきます。

●さんりんしゃでの生活

■食事について

・ひまわり枠の月～木は主食、主菜、副菜、汁物が出る完全給食です。偏食等があり、給食を食べられない場合も、みんなと同じ環境での食事にチャレンジしてみることをお勧めしています。あまりにも一口も食べられない状況が続く場合には、ご相談させていただきます。



また、調理員1名（調理補助1名）で対応しているため、アレルギー食への対応は行っておりませんので、アレルギーのあるお子様には、ご家庭からお弁当のご用意をお願いします。

・金曜日は全員お弁当のご用意をお願いします。自分でお弁当箱から食べるという経験も大切にしていきたいので、基本食べられるもの、食べきれぬ量でのご用意をお願いします。



※お弁当の要冷蔵の食品に関して

・デザートをお持ちいただくことは構いません。但し、要冷蔵が必要なチーズ・プリン・ヨーグルトは食中毒防止のため控えてください。



※お弁当の安全面について

・ミニトマトやミートボール、ぶどうなど、丸くて弾力があり、のどに詰まりやすい物は、お弁当に入れる際は、半分にカットして入れていただくようお願いします。

・ピック・爪楊枝も事故につながる可能性がありますので、控えてください。



■服装について

・幼児期の発達には、認知・体・心ともに目覚ましい発達をする時期です。その時期に可動域が狭くなる環境ですと、うまく身体を動かすことができないかもしれません。登園時の服装につきましては、動きやすい服装（関節や首、ウエストなどが締め付けられない服、衣類の着脱がしやすい服装、シーンズ素材は動かしにくいので綿素材の伸縮性のある服をお勧めします）をご用意ください。身体を自分の思ったように動かすことができることで体のイメージをもつことができ、この時期の経験やスキルの習得につながります。そして、今後の生活の基礎になっていきます。



・活動により、服が汚れてしまう場合がありますので、登園に高価な服は必要ありません。着替えも毎日バッグ内に入れていただきますので、季節ごとの入れ替えをお願いします。

※安全面について

安全に活動するための環境づくりにご理解、ご協力をお願いいたします。

・パーカーのフード、紐、大きすぎる服は事故や転倒に繋がる可能性がありますので、安全面に配慮した服装での登園をお願いします。

・ヘアゴムの中には大き目の飾りがついている物も多くあります。

壊れた際、危険に繋がる可能性があるものはお控えいただきますようお願いいたします。

・ヘアピンは誤飲や怪我の危険があるため、着用しての登園はお控え下さい。

■外遊びについて

・天気が良く、公園の状態が整えば外遊びに行きます。クラス毎に週 2 回外遊び・お散歩に行きます。思いっきり身体を動かし遊ぶためには靴の形状も大切ですので、スニーカー等の安全に動ける靴の用意をお願いします。とくに夏はサンダルなど指の出ている靴は安全に遊ぶためには適しませんので、外遊びの日は着用しないようにお願いします。



●健康管理

■体調不良の時

・ご家庭で朝の様子がいつもと違う際には必ず検温し、無理をさせないようにお願いします。こちらで平熱より高い熱が出ている場合は、ご家庭に連絡を入れ、迎えに来てもらうこととなります。熱がなくても、嘔吐や腹痛、元気がない場合には保護者の方に連絡を入れます。

・保護者の方の連絡先は、必ず連絡がつく番号をお知らせください（携帯、職場等）。

さんりんしゃからの番号 ①080-3692-7819

②080-4834-5209

③070-1427-8605

※さんりんしゃへかける場合は「011-666-7781」へお願いします。

※下記のような場合は、様子を見て欠席するか、病院へ受診されることをお願いします。

症状	登園を控えるのが望ましい場合
発熱	<ul style="list-style-type: none">朝から 37.5 度を超えた熱とともに、元気がなく機嫌が悪い。食欲がなく、朝食・水分を摂れていない。
下痢	<ul style="list-style-type: none">24 時間以内に 2 回以上の水様便がある。食事や水分を摂ると下痢がある。下痢に伴い、体温がいつもより高め。機嫌が悪く、元気がない。顔色が悪く、ぐったりしている

嘔吐	<ul style="list-style-type: none"> • 24 時間以内に 2 回以上の嘔吐がある。 • 嘔吐に伴い、いつもより体温が高めである。 • 食欲がなく、水分もほしがらない。 • 機嫌が悪く、元気がない。 • 顔色が悪く、ぐったりしている。
----	--

■薬（与薬）について

• 専門的な配慮が必要な薬の投薬は医療行為にあたる為、当センターでは原則としてできません。但し、副作用の危険性がないものや、専門的な配慮がないものや、持病をお持ちのお子さんの緊急の場合の備えや、かぶれや皮膚疾患のかゆみ止めなど、センターが必要と認めた場合に限り、病院で処方された薬のみお預かりしますのでご相談ください。

※与薬をする場合

- 与薬依頼書に必要事項を記入し、「与薬依頼書」、「薬剤情報提出書」を薬と一緒に提出して下さい。原本は服薬期間終了日まで毎日お薬と一緒に持ってきてください。
- 使用する薬は 1 回ずつに分け、当日分のみご用意ください。
- 密閉袋に入れてお子さんの名前の記入をお願いします。また、薬の袋や容器にもお子さんの名前を記入してください。
- 投薬期間が複数にわたる場合は、服薬期間を記入してください。その原本に服薬終了まで記載します。原本は服薬最終日にコピーしたものをお返しいたします。原本はさんりんしゃで保管いたします。
- 与薬依頼書（別紙）はコピーしてご使用ください。

■療育中の体調について

- ケガの状態がひどい場合には、保護者の方へ連絡と同時に病院へ搬送または救急車を要請します。

※協力医療機関

- 病院名：後藤田医院（西区西野 3 条 9 丁目 10-37）
- 医師名：後藤田 栄貴
- 診療名：内科医、小児科

●行事について

令和 7 年度より、保護者連絡アプリ『コドモン』で行事写真や療育中の写真を販売しています。公開期間は 1 か月となっております。購入したい写真がありましたら、期間内にご購入してください。

※お願い

購入された写真や行事等でご自身のスマートフォンで撮影した動画等に関しまして、SNS などに掲載する行為は禁止させていただきます。たくさんのお子様が通っていますので、ルールを守り、皆

様が通いやすい環境となりますよう、ご協力ください。

■保護者向け研修会等（ひまわり・ちゅーりっぷとも利用できます）

- ・毎年、年 8 回程予定し、年間予定にて年度初めにお配りしています。詳細は近くなりましたらご案内いたします。
- ・内容は学習会、ママさんトークデー（座談会）、先輩ママさんを迎えたトークデー等を行っています。
- ・年に 1 回、「ふれあいペアレントプログラム」も行っております。5 名前後の保護者で行い、1 週間に 1 回来ていただきます。全 7 回の集中型ペアレントプログラムとなっております。

●他機関との併用について

■ちゅーりっぷ枠

- ・幼稚園・保育園との併用枠になっていきますので、1 週間のうち利用曜日は各ご家庭との相談の上、契約になります。

■ひまわり枠

- ・連続したプログラムの中で発達支援を継続し、いろいろな行事を組んでいます。基本月曜から金曜まで毎日ご利用とさせていただきますが、家庭のご都合やお子様の発達支援で他機関（病院・訓練、幼稚園、他の事業所等）を利用する場合は、1 週間に 1 回までのお休みで可能であれば、可とさせていただきます。

■他事業所（児童デイ）との併用について

※利用日数について

- ・他事業所を併用される場合、さんりんしゃの契約日数は 19 日（最低 18 日以上）とさせていただきます、月によって変動のある場合、年度初めに年間の利用日数を決めさせていただきます（札幌市へ提出の事務書類のミス防止のため）。ご希望のある場合は、個別にご相談させていただきますので、よろしく願いいたします。月ごとの契約日数以上のご利用はできませんので、日数が足りない場合はお休みしていただく形になります。

※お願い

- ・急な体調不良などによるお休み（欠席時対応加算が生じる場合）、お休みした同日に他事業所を利用されると札幌市へ提出の書類に不備が生じてしまいますのでお控えください。

●モニタリングについて

- ・通所受給者証の更新月を基準に 6 か月に 1 度モニタリング懇談を行います。



※モニタリングの流れ（モニタリングは年2回です。）

■モニタリング懇談実施月の1か月前

「ニーズ聞き取りプリント」を配布いたします。ご本人、ご家族のニーズを記載し、ご提出ください。

■日程調整

モニタリング実施月の月頭に日程希望表をお渡しします。

■モニタリング懇談

モニタリング懇談は受給者証更新月の15日～31日の間に行います。

（例：支給決定期間9月1日～の場合、8月15日～31日の間でモニタリング懇談を行う）

●その他

■新しい受給者証が届いたとき

・通所受給者証に変更のあった場合や新しいものが届いた場合は、さんりんしゃにご提出ください。



■来訪者について

・第三者の評価は受けておりませんが、閉鎖的な環境にならないように努めており、学生実習の他、法人内の機関支援や法人内外からの視察見学を受け入れております。

■非常時の対応について

・非常時を想定し、職員研修の中で緊急時対応マニュアルの確認・搜索訓練、子ども達と地震訓練・火災訓練を実施しています。



■受診練習について

・ひまわり枠では地域の医療機関にスムーズに通院できることを目的に、定期的に受診練習を行っております。嘱託医・札幌市歯科検診事業・法人看護部の協力などを得て行っています。

■親同士のつながりについて

・さんりんしゃでは親の会は構成しておらず、保護者学習会や茶話会、行事等を通しての保護者交流を行っています。昨今、様々な問題もありますので、保護者同士の自由な交流の場でのSNS等のアカウントの交換は十分に気をつけて、それぞれの責任とご判断をお願いします。加えて、物品や金銭の貸し借りは後にトラブルにつながりますので、ご注意ください。